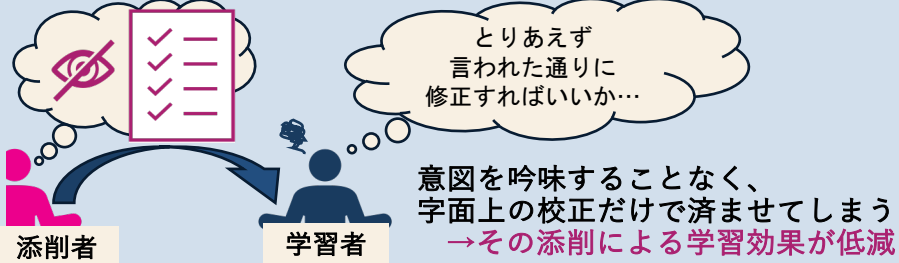


添削意図の表出化を促す論文添削支援システムの開発

瀬田・林研究室 1211100222 西尾知成

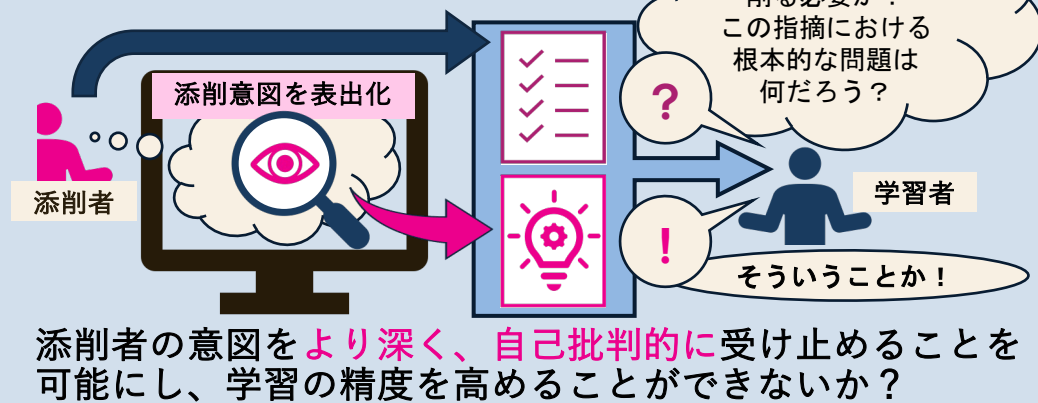
研究背景

論文添削：添削者の意図は必ずしも表明・理解されない



困難性：学習者は添削意図に自ら意識を向けにくい

支援システムを介して…



研究目的

添削意図の表出化を促し学習者との共有度を高めることで学習深度を高める論文添削支援システムの提案

アプローチ

一連の添削・学習プロセス全体を支援

【添削プロセス】

学术论文に対し、添削者の意図をより明確なかたちで提示させるために テンプレート選択による意図の表明とコメント機能による具体化を実行

【学習プロセス】

添削者の意図を推察することの動機づけとして、最初は意図のみを見せその詳細な内容を吟味させることを促す

想定システム

西田ら[1]の論文読解支援システムを拡張
開発環境：Visual Studio Code 開発言語：JavaScript・PHP・HTML (開発中)

添削対象となる論文の原稿データを入力

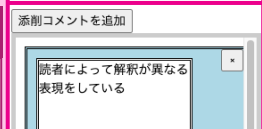
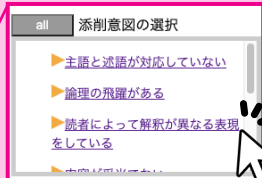
添削フェーズ

① 添削テンプレートの選択

選択されたテンプレートを各添削箇所に対応 (開発中)

② 添削コメントの付与

選択テンプレートごとに詳細なコメントを追加



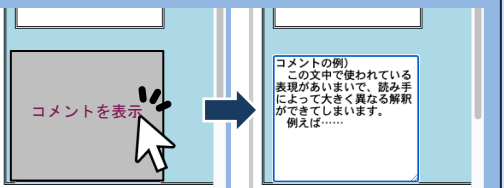
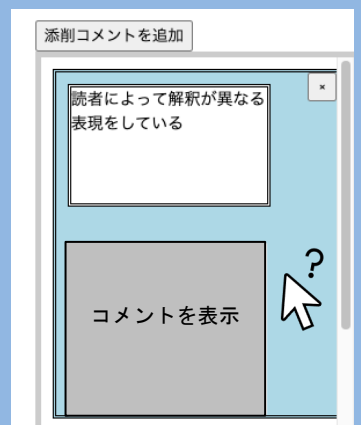
学習フェーズ

③ 添削内容の把握

最初はテンプレートのみ表示 (開発中)
学習者を自己批判的な内省活動に取り組ませる

④ 表出化された意図の認知

学習者にコメントを提示し、改めて正確に添削意図を掴ませる



参考文献：1. Aota Nishida, Kazuhisa Seta, and Yuki Hayashi, "Development of Learning Support System for Critical Reading of Academic Papers". Proc. Of ICCE2023, pp.120-122, 2023.

研究仮説：一連の活動を通して、学習者はフィードバックの意味を深く理解し、以後の改善に繋ぐより効果的な添削指導の実現が期待できる

今後の課題

- システムの実装・実験と有用性の評価
- 学習者がより添削意図を咀嚼しやすくするような表出方法の実現
- UI・UXの改善